

《関西大学国際活動事例集》

3国間(ドイツ・韓国・日本)パートナーシップ教育プログラム

システム理工学部

教授 上村 稔大



【この活動の概要】

主な活動	1 ポストドクターまたは修士課程大学院生の交換プログラム 2 ワークショップ・サマースクールの開催
関係機関	ドレスデン工科大学(ドイツ)、ソウル大学(韓国)
実施時期	第1期 2014年～2015年 第2期 2016年～2017年
参加者数	学生交換 毎年1～2名ずつ ワークショップ・サマースクール 2014年11月5日～6日 ワークショップ(ドレスデン工科大学) 40名 2015年8月24日～28日 サマースクール(関西大学) 50名 2016年5月9日～13日 ワークショップ(ドレスデン工科大学) 40名
協力者	システム理工学部数学科 山崎和俊先生

【先生に直接聞いてみました】

Q 「3国間パートナーシップ教育プログラム」とは、どのようなプログラムか？

A このプログラムは、ドイツのドレスデン工科大学、韓国のソウル大学、そして日本から本学の3大学で大

学院生を交換するプログラムで、あわせて年に1回程度、合同のワークショップやサマースクールを行っています。

Q 始められた経緯は？

A 私自身がドレスデン工科大学の代表者と以前から共同研究を進めておりまして、その中でDAAD(ドイツ学術協会)のプログラムが日本と韓国を加えた3大学(3国)間の助成プログラムを開始するとの話を聞きまして、それに応募した次第です。

(参考)DAADとは

Der Deutsche Akademische Austauschdienst(ドイツ学術交流会)の略称で、ドイツの大学が共同で設置している機関。大学間における国際交流を促進する役割を担っており、国内外の研究者、大学教員、学生を対象にした多様なプログラムやプロジェクトを実施している。連邦の公的拠出金を財源基盤として運営されており、その大半は外務省、さらに教育・科学・研究技術省、経済協力省から拠出されている。

Q 具体的にどのような活動か？

A ドイツ(ドレスデン工科大学)側より毎年ポストドクター、あるいは修士課程の院生を1~2名ずつ受け入れ、日本側からは修士及び学部の学生を毎年1~2名を派遣します。学生・院生はそれぞれの大学で提供されている講義や特別プログラムを受講します。また、毎年、ドイツあるいは日本でワークショップやサマースクールを開催しています。ここでは日独韓に留まらず、過去にはイギリス・中国・ポーランド・クロアチアなど世界各国から参加者がありました。

Q ワークショップやサマースクールではどんな活動を？

A 多くは、プログラムに従って、院生や若手研究者に向けた、最新の研究テーマに繋がる基本的な導入の理論などを教授するミニ講義がいくつか開かれました。あわせて、独日韓の研究者だけでなく、世界各地から招いた研究者の最新の研究結果の報告なども行われ、非常に多岐にわたる活動が行われています。また、ワークショップやサマースクールの合間には懇親会なども開かれ、とてもリラックスした雰囲気でした。



Q 学生を受け入れたり、派遣したりする際にご苦労されたことは？

A 学生や院生の派遣に関して、滞在費はどうか工面できるとしても、フライト代に関しては「持ち出し」というのが実情です。交流を積極的に進めるのであれば、大学からある程度フライト代の補助も積極的に検討していただけるとありがたいです。



Q 学生の反応は？

A ドイツ側へ派遣した学生の話でいうと、海外で1人暮らすことや、日常会話が英語であること等への不安もあったようで、馴染むまでに時間がかかったようです。しかしながら、先方の先生方の多大なる配慮により、徐々に馴染んでいって、滞在後半には研究室の仲間たちと一緒にお昼ご飯を食べに行ったり、お茶の時間にコーヒーを飲んだりして、彼らととても仲良くなったようです。また、ドイツ国外からも数多くの研究者が滞在して、セミナーやワークショップなども多く開催されて、研究の幅が格段に広がって、学生にとって貴重な体験となっています。

Q 今後の展開は？

A 2016年度11月12日に関西大学でワークショップを開催しました。また、2017年は、具体的な時期は未定ですが、ドレスデン工科大学でサマースクールを開催する計画が進んでいます。

【参考 URL】

- ・[Workshop on Stochastic Analysis and related topics 2015](#)
- ・[Summer School on Dirichlet Forms and Stochastic Analysis 2015](#)
- ・[Workshop on Stochastic Analysis and related topics 2016](#)
- ・<http://www.math.kansai-u.ac.jp/conferences/workshop2016.html>

発行：関西大学国際部 <http://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/>



KANSAI UNIVERSITY